

当社における DX 戦略について

1. はじめに

当社は創立 100 周年を迎えた 2022 年度に企業理念を「NEXT HEAT 熱で、未来に新しい温もりを」と再定義し、主に熱をコア技術とする生産設備機器メーカーとしてお客様、市場、そして地域・社員と共に歩む会社として存続するべく事業変革に取り組んでいます。

コロナ禍を機に、オンラインでの営業活動、デジタル技術の活用による事務・生產業務の効率向上は市場の大きな流れとなりました。

生産設備業界における営業活動は、展示会や試験設備を用いたサンプルテストなどをきっかけとする、お客様との対面接触が主流でしたが、このスタイルからの変化なくしては競争力を発揮できない市場環境が到来しました。

また、高齢化・少子化に伴う国内労働人口の減少によって、地方では特に人的リソースの確保が一段と困難になっており、ベテラン社員の雇用延長を支援し、且つ少人数で効率的な業務を可能とする環境の整備が必要となっています。

当社は、世界情勢と時代の変化に対応し、付加価値の高い生産設備を提供すると共に、その開発・製造・保守を担う体制をDXで強化します。

新設した「DX企画推進室」を核として社内にデジタル技術を導入し、顧客提案、製造テスト、開発・製造体制を構築して、お客様のニーズに応え続けます。

2. DX 戦略概要

① ウェブサイトの刷新・機能向上

DX企画推進室による統括の元、会社ウェブサイトを刷新し、各営業部門と連携し以下の活動を展開します。

- i SEO 分析結果をサイト構成にフィードバックし、更なる顧客アクセスを獲得
- ii 製品・サービスカタログメニューのタイムリーな更新
- iii 試験設備を用いたサンプルテストメニューの紹介充実

② 社内業務の効率向上

既存の社内システム（経理、人勤、調達、生産、設計、アフターサービス等）を統合し、情報の一元管理、効率と業務品質の両立、コンプライアンスとセキュリティの確保等を兼ね備えた基幹インフラシステムを構築し、業務環境のDXを推進します。

③ デジタル技術を活用したソリューションの開発

タナベの特性（顧客製品に合わせた個別最適化設計）を活かした各製品に、顧客独自のニーズを叶える為のデジタル機能を技術本部の主導により開発します。

3. DX 推進体制

株式会社タナベ代表取締役社長の下、DX企画推進室長を実務執行総括責任者とします。

DX企画推進室は各部門の実務担当者と協議のうえ、部門間の要件定義を整理しながら合理的な全社連携の業務体制を確立します。

各部門のDX推進担当者を任命し（合計3名）、基幹インフラ構築に従事すると共に専門教育の受講・習得に努めます。

4. システム環境整備体制

基幹インフラシステムはDX企画推進室の統括の元、社内各部門と連携して基幹インフラシステムの要件定義から導入までのプロジェクト運営を行います。製品ソリューション開発は営業各部門と技術本部で実施します。

個々の改善案件は費用対効果又は市場ニーズに基づき実施を判断し、経営計画上の予算から費用を充当し実施します。

5. 達成度を測る指標

全社基幹インフラシステムの構築進捗度をもってDX戦略の全社的な達成度の指標とします。当社ウェブサイト(<https://tanabe-co.co.jp/>)にて進捗を四半期毎に更新します。

また、企業経営の質の向上を目標に掲げた新中期経営計画IT-25を2022年10月度に策定しました。この中でDXを含む各部門の経営目標を定義しており、月次の定期会議の中で進捗を管理致します。この中期経営計画は非公開ですが、全社基幹インフラシステムについては3年以内の全機能リリースを目標設定しています。

以上